

板橋区都市づくりビジョンの改定(案)について

第1章 板橋区の都市を知る/板橋区の魅力つよみ(本編p1～)

- 板橋区の地域の自然・歴史・文化やくらしの積み重ねを尊重しながら、都市の価値を捉え直し、総合的な視点で、地域の価値を最大化する「板橋都市デザイン」を進めていく。
- 「板橋都市デザイン」を実践するモデルを紹介する。



- 区の時々の現状の魅力・つよみを認識し、それらを活かした区独自のブランド価値を高めていく都市づくりを進めていく必要がある。

▶”くらしを支える舞台(都市空間)”としての板橋区の魅力・つよみ

▶”ひとが活躍する舞台(都市活動)”としての板橋区の魅力・つよみ

▶板橋区の都市に関する声



第2章 板橋区都市づくりビジョンの役割・改定背景(本編p19～)

- 「板橋区都市づくりビジョン」は、都市計画法第18条の2に基づく「区市町村の都市計画に関する基本的な方針(都市計画マスタープラン)」である。

- 次期「板橋区都市づくりビジョン」は、第四次の都市計画マスタープランとして策定し、**計画期間は、令和8(2026)年度から概ね10年後を想定した「板橋区基本構想」改定まで**とする。なお、計画策定にあたっては、概ね20年後の長期的な視点も見据えたものとする。

▶改定背景

- 人口減少社会を見据え、多様なひとが住み、活動する魅力と活力ある持続可能な社会をめざしていくことが求められる
- 激甚災害・複合災害、気候変動への備え
- 脱炭素社会・カーボンニュートラルの実現
- グリーンインフラの推進
- ウォーカブルなまち
- くらしの中でのウェルビーイング
- ライフ・ワークスタイルの多様化、移動スタイルの変化
- 次世代技術の社会実装への対応

第3章 めざす都市の姿(本編p29～)

(1) 将来像(めざす姿)

- 本計画は、上位計画である「板橋区基本構想」がめざす将来像を実現していく。

板橋区基本構想 将来像

未来をひらく 緑 と 文化 のかがやくまち “板橋”

- 板橋区基本計画では、区施策を9つの分野で示し、戦略的に施策を推進していくことから、本計画は板橋区基本計画の9分野と連携する。

- 将来像に掲げる『緑』を「都市空間」、『文化』を「都市活動」と捉え、生活の舞台となる都市空間整備と、ひとのちからを活かした都市活動の取組みを、効果的に連携させ、**かがやくまち“板橋”**の実現に貢献していく。

(2) 3つの都市像

- 3つの都市像を見据えた都市づくりを推進することで、将来像の実現に貢献する。

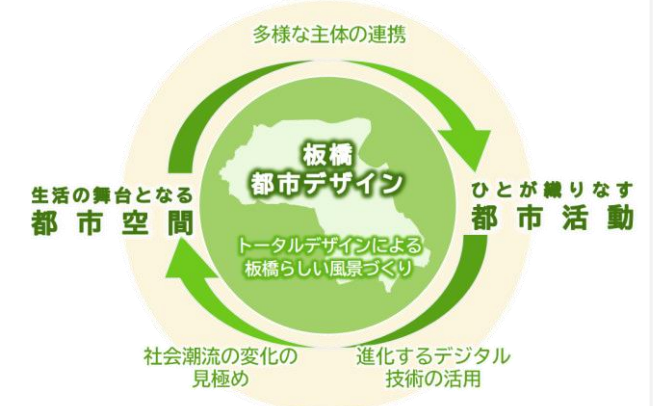


(3) 地域の価値を最大化する「板橋都市デザイン」(以下、都市デザインと同義)

- 将来像の実現に向け、予測困難な時代において持続可能な区政を実現するため、多様な主体との連携強化や、社会潮流の変化の見極め、進化するデジタル技術の活用を見据える必要がある。効果の全区的な最大化を図るため定義する。

地域の価値を最大化する「板橋都市デザイン」

道路、鉄道、公園、広場、河川などの生活の舞台となる『都市空間』全体と、くらし、働き、学び、楽しみ、憩うなどのひとが織りなす『都市活動』の営みを、総合的・統一的に捉え、区で育まれてきた自然・歴史・文化などの地域固有の個性やつよみを最大限に活かしていくことで、“板橋らしい風景”づくりをめざすトータルデザインの考え方



都市空間：生活の舞台となる自然物・人工物などの物的要素により構成される都市基盤や環境
都市活動：都市空間において展開される人々の生活・活動

(4) 将来都市構造・土地利用の方針

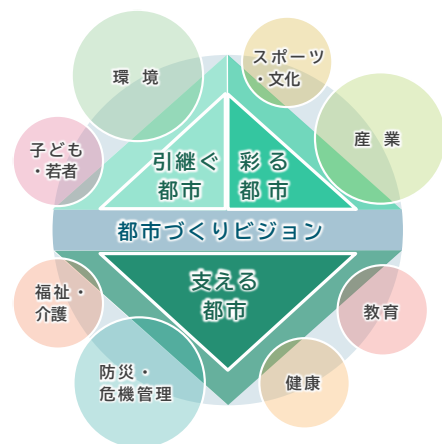
- 区の時々のつよみである交通利便性、充実した医療・産業・商業などを『都市空間』と『都市活動』の効果的な連携により、さらに発展させることで、鉄道を軸に都市機能が集積した個性ある拠点形成を形成する。
- それぞれの拠点を、鉄道だけでなく、バス路線やモビリティ、ウォーカブルな空間など身近な生活圏を結び、ひとの回遊を生み出していくことで、「ネットワーク型集積都市」を形成する。



第4章 分野別の都市づくり方針（本編p45～）

（1）分野別の都市づくりの基本的な考え方

- 将来像・3つの都市像の実現に向けて、「板橋都市デザイン」に取り組むため、**5つの分野別都市づくり方針**を示す。
- 3つの都市像を見据えた5つの分野ごとの都市空間がされたまちの姿と、その都市空間を活用した都市活動を示すこと**で、**多様な主体との連携強化**を図り、将来像の実現に貢献する。
- 区基本計画の9つの施策と連携し、**生活の舞台となる都市空間整備と、ひとのちからを活かした都市活動の取組を推進する。**



板橋区基本計画の分野と3つの都市像の関係図

分野別都市づくり方針	3つの都市像を見据えた都市空間が整備されたまちの姿		
	引継ぐ都市	彩る都市	支える都市
都市デザイン	◆データ駆動による都市づくりの政策と実践（まちづくりDX） 都市づくり×DX	◆板橋固有の資源や文化を活かしたブランドの創造と発信 創造都市×プロモーション	◆公共施設を核とした身近な生活圏の交流と活動 公共施設×地域資源
グリーンインフラ	◆板橋固有の自然を次世代へ引継ぐまち 子ども 産業 環境 若者	◆四季折々に彩られるみどりの舞台で楽しむまち スポーツ 産業 環境 文化	◆気候変動にも対応するみどりと支え合うまち 健康 環境
道路・交通	◆身近な交通環境が未来をひらくエコなまち 子ども 環境 都市 若者 づくり	◆ひと中心で、少し先まで巡り歩きたくなるまち 産業 都市 づくり	◆安全で誰もが安心して出かけたいまち 子ども 健康 都市 若者 づくり
住環境・暮らし	◆新しく多様なライフスタイルが叶うまち 子ども 環境 若者	◆発展する文化・産業と共に輝くまち 教育 スポーツ 文化 産業	◆くらしの居場所を地域で守るまち 子ども 健康 福祉 産業 都市 若者 介護 づくり
安心安全	◆予測し備える準備が非常時に活きるまち 防災 都市 危機管理 づくり	◆日常のつながりが災害時の絆になるまち 教育 防災 危機管理	◆強靱な都市基盤が支え共に助け合うまち 福祉 防災 介護 危機管理

第5章 エリア別の都市づくり方針（本編p97～）

（1）エリア別の都市づくりの基本的な考え方

- 各エリアの特徴から、多様な価値・魅力を創造し、**各エリアの課題に対応したきめ細やかな都市づくり**を実現するための方針を定める。
- 隣接するエリアや、隣接自治体での条件や連携を踏まえた総合的・統一的な取組が重要。
- 8つのエリアは、地域活動やコミュニティのまとまりを基本とし、幹線道路などの都市構造、土地利用のゾーン、鉄道駅の利用圏などを考慮している。**



図表：エリア設定図

（2）エリア別の都市づくり方針

板橋・大山	都市の魅力を実際させる多様な機能を集積し、石神井川の美しい桜並木などの自然要素や、加賀藩の歴史要素、個性豊かな商店街の文化要素などの地域資源と、質の高い公共空間整備が融合し、 住み、働き、訪れる人が区内を巡り、愛着を育むことができる “板橋らしい風景づくり”を進めます。	赤塚・成増	崖線の地形的な自然要素や、都市農業の歴史要素、区立美術館をはじめとする芸術・アートの文化要素などの地域資源と、質の高い公共空間整備が融合し、 武蔵野の原風景とアート活動が日常生活に織り込まれ幸福感を感じることができる “板橋らしい風景づくり”を進めます。
大谷口・向原	都立城北中央公園や区立茂呂山公園、石神井川の自然要素や、居住と福祉・医療が共存する歴史要素、文化要素などの地域資源と、質の高い公共空間整備が融合し、 多様な世代が安心していつでも住み続けたいと感じることができる “板橋らしい風景づくり”を進めます。	新河岸・高島平	荒川河川敷や崖線の自然要素や、新河岸の工業地帯の産業・歴史要素、都営三田線沿線や高島平団地で育まれた文化要素などの地域資源と、質の高い公共空間整備が融合し、 職・住・遊の充実を感じることができる “板橋らしい風景づくり”を進めます。
上板橋・常盤台	「板橋崖線」の地形的な自然要素や、伝統ある住宅地の歴史要素、東武東上線沿線や川越街道沿道で発展した商店街の文化要素などの地域資源と、質の高い公共空間整備が融合し、 身近な暮らしに心の豊かさを一層感じることができる “板橋らしい風景づくり”を進めます。	坂下・舟渡	荒川や新河岸川の自然要素や、工業地帯の産業・歴史要素、都営三田線沿線や河川で育まれた文化要素などの地域資源と、質の高い公共空間整備が融合し、 くらしを支える産業活力を身近に感じ、魅力的な河川空間でのアクティビティを楽しむことができる “板橋らしい風景づくり”を進めます。
徳丸・西台	「板橋崖線」の地形的な自然要素や、都市農業の歴史要素、重要無形文化財に指定された田遊びを代表する文化要素などの地域資源と、質の高い公共空間整備が融合し、 農や自然から季節を感じ、彩り豊かにくらすことができる “板橋らしい風景づくり”を進めます。	小豆沢・志村	新河岸川や崖線上の小豆沢公園などの自然要素や、都市型産業や中山道沿いの歴史要素、スポーツ・レクリエーションの文化要素などの地域資源と、質の高い公共空間整備が融合し、 日常生活の中で健康・スポーツを楽しむ、多様な働き方の両立を “板橋らしい風景づくり”を進めます。

第6章 都市デザインの推進に向けて（本編p195～）

（1）協働の都市づくりに向けた基本方針

- 区・区民等・事業者が『板橋都市デザイン』を共通認識として、**協働の都市づくり**に取り組むことで、将来像・3つの都市像の実現を図る。
- 『板橋都市デザイン』推進のため、**すでに区や地域で取り組む事業や活動をモデルに定め、更に充実させるとともに、今後の都市づくりに全区的に波及させていく。**
- 区が公共施設の整備など先導的に取り組む**ことで、民間事業者だけでなく、区民や国、東京都などへ『板橋都市デザイン』の理解を促し、浸透させることをめざす。

地域の価値を最大化する「板橋都市デザイン」を先導

